

「売りたい」「買いたい」がココにある

東和新生会

TOWA BUSINESS NEWS

2025.5
Vol. 12



ICTで社会課題解決を目指す 創業以来、黒字経営を続ける優良企業



コガソフトウェア 株式会社



代表取締役社長 古賀 詳二氏

受託システム開発とヘルスケア・モビリティサービスなどのオリジナル商品を手掛けるコガソフトウェア株式会社（古賀詳二社長）。2000年の会社設立以来、一貫して黒字経営を続け、日本SME格付けで“aa”を取得している優良企業である。

古賀社長は大分大学工学部を卒業して東京のソフトウェア開発会社にSE（システムエンジニア）として就職した。当時は小規模の会社だったが時代の潮流に乗り、20年間で3000人の従業員を抱える規模にまで急成長した。この間、古賀社長は日本電気、富士通、日立製作所、日本IBMなど大手企業のシステムを手掛ける“伝説のSE”として名を馳せた。ただ、企業規模が膨張するのに比例して経営者のコンプライアンス違反が目に見えようになり、再三再四、これを正すよう直言していた。経営者は聞く耳を持たず、イエスマンばかりの幹部からも疎んじられるようになり、独立する決断をした。当時45歳。背水の陣の船出だった。

「社員と社会を大切にする」を企業理念とし、公明正大こそが経営者の資質と肝に据え、事業を進めてきた。

「自分より優秀な人と交流する」

2000年はITバブル崩壊の年。仕事はなかったが、過去の人脈は

社員は東大、京大、一橋大など
名門大学出身者がずらり



捨て、すべて新規営業開拓と決めていた。人脈頼りは、不況に弱く尻すぼみとなるケースが多いからだ。創業してしばらくは、いつ倒産してもおかしくない状態が続き、「谷に掛かったロープを渡っているような心境」（古賀社長）だったというが、同業種の団体に入会するなどして取り引きを拡大した。

新たな人脈を広げる上で心掛けたのが「自分より優秀な人と交流すること」。東京大学のウェアラブル環境情報のNPOに入会し会合では20年間、いの一番に質問している。

「超一流の人たちと交わり、知識を得れば最短で目標にたどり着けるし、未来を見通せるようになる。自分の知識のなさをさらけ出す恐怖はあるが、ひるんでいては何も始まらない」

ただ、古賀社長は生来、物怖じしない性格ではなかったという。転機が訪れたのは28歳でイラク・バグダードに駐留していたとき。イラン・イラク戦争の渦中で、滞するホテルのすぐそばにも爆弾が落ちるような危険な状態だった。「少しでもずれていたら死んでいた。遠慮しながら生きていてもつまらない。言いたいことを言い、やりたいことをやり、明日、死んでも悔いがないように生きよう」と自らに誓い、性格を180度変えたという。

創業の目的の一つは「IT業界からブラック企業を追放する」ことだった。このために経済産業省や外郭団体の幹部や大手企業トップにも自身の考えを直接、伝えたり、講演活動も行っている。

自社では常に健全経営を標榜してきた。14年に日本SME格付けを取得以来、9年連続で“a”、23年からは“aa”を取得している。これは、ステークホルダーだけのためでなく従業員の家族に安心感を与えるためだ。決算書をホームページ（HP）で公開しているのもそのためだ。19年には大手企業に混じり、健康企業宣言東京推進協議会から「健康優良企業 金の認定」を取得した。約6000社が加盟する関東ITソフトウェア健康保険組合で第1号だった。

交通・ヘルスケア分野で存在感

同社は受託でのシステム開発のほか交通分野、ヘルスケア分野の技術開発・事業展開を進めている。

AIを使った新交通システムの「孝行デマンドバス」は医療難民や買い物難民の移動を支援するツールだ。利用者のニーズに応じてドアソードアの移動を実現する乗り合い型の交通モードで、路線バスの経済性とタクシーの利便性を備えたサービスだ。全国150以上の自治体に納入実績があり、参入している三菱商事、伊藤忠商事、NTT東日本などの大手を向こうに回し、トップシェアを誇っている。

ヘルスケアの分野では健康診断情報や整形系病状、体調などの情報を入力するだけで生活習慣病や予備軍の最適な運動メニューを提供する「メディカルフィットネス」がある。科学的エビデンスが評価され、14年には、健康科学ビジネス推進機構が主催する第1回

健康科学ビジネスベストセレクションズに入選している。「ゆがみチェッカー」は、小型カメラとパソコンだけで体のゆがみや今後、痛める可能性のある部位や未来の体型を割り出し効果的なエクササイズを自動で提案する。16年、りそな中小企業振興財団と日刊工業新聞社が主催する「中小企業優秀新技術・新製品賞」で奨励賞を受賞している。

また、開催中の大阪・関西万博では6月10日から1週間、大阪ヘルスケアパビリオンに「スマートルームにおいて誰でも利用できる非接触WEB体力・能力測定システムとメディカルフィットネス～日常生活シーンに溶け込むEIM (Exercise is Medicine)～」を出展する。

古賀社長は「生活習慣病患者を健康にすることによって医療費・介護費を抑制できる上、健康寿命も延伸できる。この結果、年金が抑制され、税収が増え、社会保障費が抑制され持続可能な社会が作れる」と大局的に将来を展望する。

現在、SI（システムインテグレーション）とオリジナル商品の売上構成比は、80対20。将来的には50対50を目指し、利益率を向上させて株式上場も視野に入れる。

創業時6人だった従業員は現在、136人。驚かされるのは従業員の出身大学だ。東京大の8人をはじめ、京都大、一橋大、大阪大、東北大、早稲田大、慶應義塾大など名門大がずらりと並ぶ。「世間は人材不足で苦労しているが、当社は困ったことがないばかりか、大企業並みの人材を獲得できている。これは決算書をHPで公開するなど公明正大な企業方針が支持されているから。隠し事をしたり、見せない会社に将来は託せない」（古賀社長）。

信条は「険しい道を歩け」と「狭き門より入れ」。「舗装された道や広き門は墮落へと続いている。不況や困難に遭遇するとすぐに滅びてしまう。私は難しい仕事を取ろうと躍起になってきた。そうしないと成長はない。多くの人は営業は難しいという。それは違う。難しいのではなく、単に考えていないだけ。人脈営業だけに頼ってはいけない。新しい時代になっているのだから、旧来の方法では通用しない。違う角度で検証すれば必ず道は開けるはずだ」古賀社長が生まれた55年はマイクロソフトの創業者ビル・ゲイツ、Appleの共同創業者の1人、故・スティーブ・ジョブズが誕生した年。コガソフトウェアのサービスや製品で社会課題を解消し、「シリコンバレーにソフトを販売すること」が夢だという。

Company Overview

東京本社：〒110-0005
東京都台東区上野1-19-10 上野小路会館6階
☎03-3833-0733 FAX.03-6735-4511
大阪本社：〒541-0043
大阪府大阪市中央区高麗橋4-5-13 淀屋橋サテライトビル4階401号室
<https://www.kogasoftware.com/>